

総合学科通信 <第8号>

発行 総合学科推進部 令和4年3月23日



本日は終業式、令和3年度が終わりました。
この一年の取組が土台となって、新しい一年へと繋がります。
総合学科の学びを、総括冊子にまとめました。この一年を振り返るよい機会ですので、じっくりと目を通してほしいと思います。



鈴蘭台駅前にある“ベルスト鈴蘭台”にて開催されたイベント『わたしのまちことば』に参加してきました！

北区の活性化を目指して、ベルスト鈴蘭台・北区役所管理組合が主催したもので、今回初めて参加させていただきました。その時の様子を報告します。

◇K シリーズ成果発表◆一般の方々の前で



◇ふうちゃんぬりえコーナー◆子どもたちと



◇展示物 準備の様子◇

★本校の取組を地域に発信することで、地域との繋がりを強化できることが期待されます。今回は、Kシリーズを中心とした発表をしましたが、今後はさらに生徒会、部活動、教科発表の場としてイベントに参加していけたらと考えています！



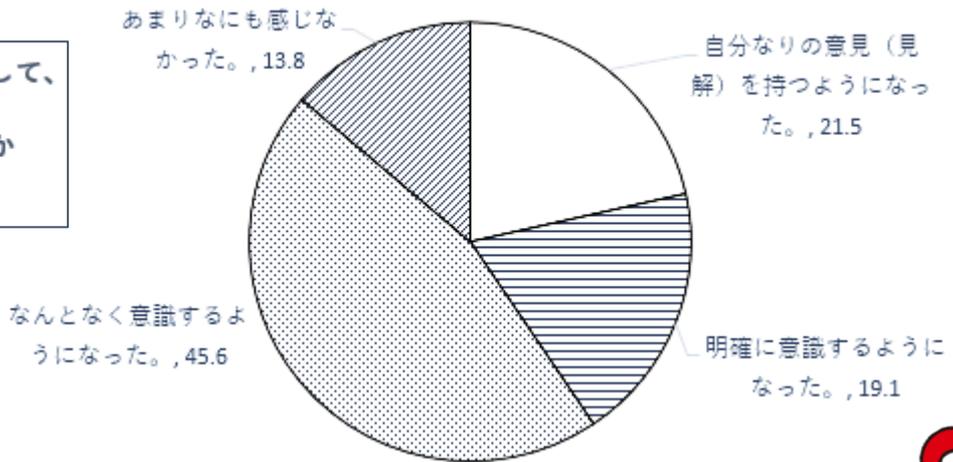
「週刊☆探 CUE!」を発行するようになって、2年が過ぎました。現代社会で何が起きているのか、何が問題となっているのかを知ること期待できる効果はたくさんあります。

- ①主体的な社会参加を促す ②メディアリテラシーを身に付ける
- ③活字に触れ、表現力・文章力を鍛える などなど

月曜日の朝、「週刊☆探 CUE!」を読むだけではもちろん身に付くわけではありませんが、そのきっかけにどれほどなったか、今後も問い続けたいと思います。

アンケート結果（一部）

ニュース（情報）に対して、自分の意見（見解）を持つようになりましたか（%）



「春休みの意義とは？」何ぞや？



4月を年度の始まりとする日本では年度の境目であり、年度の終了および年度始めの準備期間としての意義があります。学年のしめくくりとして、一年間を振り返るとともに、新学年の準備をし、心身ともにリフレッシュして新年度にふさわしい環境を整えることが大切です。

自らの知的好奇心を刺激し、物事を探究するには不規則な生活は厳禁！新しい年を新しい気持ちで迎えるためにも、この春休みを有意義にすごしましょう。



《編集後記》

令和3年度の通信もこれが最後です。この一年も無事終わりました。コロナの影響はありつつも、行事を中止にせざるを得ないような事態になることもありませんでした。よかった。通信では、Kシリーズの取り組みを順次伝えてきましたが、今だからできること、今しかできないことを生徒のみなさんが経験していくことで、一回りも二回りも成長していく姿を見るのは、とても頼もしく感じていました。それは、生徒自身の「やってみよう!」とするチャレンジ精神と先生方の「やってみたら?」の後押しがうまく作用したことも多かったと思います。何事にも当事者意識を持つことは難しいかもしれませんが、疑問に思うことから新しい発見があるものです。新しい発見は新しい価値観を生み出します。令和4年度がみなさんの更なる成長の年になることを願っています。



総合学科推進部長 大永麻起子